

支援金の加算分を全額使い、私達の要望に添って増額！

1. 来年度私学助成予算は怎么样了か

	2015 年度	2016 年度	増減額	増減割合
イ) 予算総額	593.0 億円 →	593.4 億円	+ 0.4 億円	+ 0.1%
ロ) 経常費補助（小中高）	195.70 億円 →	197.82 億円	+2.13 億円	+ 1.1%
◎ 高校生一人当たり単価	320,939 円 →	324,627 円	+ 3,688 円	+ 1.1%
※教育条件向上推進費補助	4.66 億円 →	4.68 億円	+0.02 億円	+ 0.4%
○ 中学生一人当たり単価	297,720 円 →	301,293 円	+ 3,573 円	+ 1.2%
○ 小学生一人当たり単価	293,166 円 →	296,684 円	+ 3,518 円	+ 1.2%
○ 幼稚園児一人当たり単価	178,435 円 →	180,544 円	+ 2,109 円	+ 1.2%
ハ) 授業料軽減補助	※対象生徒数 49,343 人 → 45,027 人			
高校（全・定）	116.92 億円 →	115.92 億円	-1.00 億円	- 0.9%
○ 甲Ⅰ・Ⅱ	394,800 円 →	398,400 円	+3,600 円	+ 0.9%
乙Ⅰ	264,000 円 →	265,200 円	+1,200 円	+ 0.5%
乙Ⅱ	198,000 円 →	199,200 円	+1,200 円	+ 0.6%
その他（年収 840～910 万円）	118,800 円 →	118,800 円	±0 円	± 0.0%
ニ) 入学金補助	12.83 億円 →	15.34 億円	+2.51 億円	+19.6%
甲Ⅰ・Ⅱ	20 万円 →	20 万円	±0 円	± 0.0%
○ 乙Ⅰ	6.5 万円 →	10.0 万円	+3.5 万円	+53.8%
○ 乙Ⅱ	4.8 万円 →	6.5 万円	+1.7 万円	+35.4%
ホ) 高等学校奨学給付金 （給付型奨学金）	3.41 億円 →	5.95 億円	+2.54 億円	+74.6%
生活保護世帯	52,600 円 →	52,600 円	±0 円	± 0.0%
以外第 1 子	39,800 円 →	67,200 円	+27,400 円	+68.8%
以外第 2 子	138,000 円 →	138,000 円	±0 円	± 0.0%
× ヘ) 施設設備費補助	10 億円 →	10 億円	±0 円	± 0.0%

2. どこに成果があったか

(1) 来年度予算の成果を一言で言うと

最大の争点であった乙ランクの入学金補助が 9 年ぶりに増額された。また、授業料助成は授業料平均額へ単価是正が行われ、甲ランクは 3,600 円、乙ランクは 1,200 円の増額となった。県費単独の増額がなく、昨年のような満額回答にはならなかったが、32 都道県で就学支援金の加算分がネコババされている中で、愛知県では加算分を全額上乘せさせ、「私学選択の自由」の拡大という私たちの要望に添った成果を引き出すことができたのは評価していいのではないかな。一方、経常費助成は国基準が維持され、高校では 3,688 円増の 324,627 円になった。なお、小・中学校では国基準との差は縮まらなかったが、増額分（3,500 円余）は加算された。

(2) 乙ランクの入学金補助について

入学金補助は、2015 年度に甲ランクは 20 万円となり実質無償化されたが、乙ランクは 2007 年度より 8 年間置かれたままで、15 万円前後の負担が残っていた。このような入学金の大きな公私格差が、中所得者層までもが私学を自由に選択できない主たる要因になっていたもので、中所得者層での今回の増額は、公私格差を是正し、私学選択の自由をさらに広げる上で、その意義は大きい。